

目標：「読むこと」イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

評価の場面

自分たちが住む地域について伝えたい内容を整理し、自分の気持ちや考えを伝えるために作成したオリジナルポスターを互いに読み合い、分かったことをワークシート②に書く。



単元の評価規準の例(読むこと)

知識・技能

施設・建物を表す語句やWe (don't) have ~. We can enjoy/see ~. I want ~. の表現、終止符の基本的な符号について理解している。
自分たちが住む地域について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた友達の考えや気持ちなどを読んで意味が分かるために必要な技能を身に付けている。

思考・判断・表現

自分たちが住む地域についてよりよく理解するために、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた友達の考えや気持ちなどを読んで意味が分かっている。



「読むこと」の評価をするためには、児童の書いたものをどのように見取ればよいのだろうか?

こう見取る!(例)

【十分満足できる状況A】

関わる語句や表現を識別し、推測して読み、「町にあるもの」と、「よいと思う理由」の両方について記述がある。

児童 1

友だちの名前 Mさん

町のよいところ

町にあるもの 大きな公園

よいと思う理由は? ジョギングが楽しめる。

知識・技能 A

上に書いた町のよいところやその理由の他に、友だちや町のことで分かったことを書きましょう。

私もMさんが書いていたとおり大きな公園があるからこの町のいいところだと思う。それに、図書館があるとみんなが本を読めてよりいいと思う。Mさんが本が好きなことを初めて知った。

思考・判断・表現 A

児童 2

友だちの名前 Mさん

町のよいところ

町にあるもの 大きな公園

よいと思う理由は?

知識・技能 B

上に書いた町のよいところやその理由の他に、友だちや町のことで分かったことを書きましょう。

私も大きな公園があるからこの町がいいと思う。図書館はなくても本屋さんがあるからいいと思う。

思考・判断・表現 B

こう見取る!(例)

【おおむね満足できる状況B】

「公園」については識別し、意味も捉えられているが、楽しめることについて記述がない。

【十分満足できる状況A】
オリジナルミニポスターに書かれていることを読んで十分に意味が分かっており、ポスターを読むことで、町のことや相手のことについてより理解できていることが読み取れる。

【おおむね満足できる状況B】
町や友達のことで分かったこととして、町にあるものやないものについてのみ考えを書いている。

上記評価項目に満たない「努力を要する状況C」と判断した児童がいた場合、対象児童の様子を注視しつつ、今回意味が捉え難かったものだけでなく次の単元以降で扱う語句や表現についても、音声とともに文字を添えた絵カード、文等に何度も触れさせる場面を設けるなどして、「おおむね満足できる状況B」となるよう、意図的な支援や指導を継続して行うことが大切です。



【参考】文部科学省国立教育政策研究所
『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の第3編より引用(一部加工)